

施工マニュアル

クリアコート

BMストーンコート（微臭タイプ）

必ず施工前にお読みになり、マニュアルに従って施工を行って下さい。

標準塗布量

御影石鏡面仕上げ	10~12㎡/L
御影石バーナー仕上げ	7~10㎡/L
大理石鏡面仕上げ	10~15㎡/L

※石材の吸水率により塗布量は異なりますので、目安として下さい。

塗布方法

予備テスト

- ・サンプル板等で下記方法にしたがって塗布し色調等の確認を行なって下さい。
- ・前記を参照に塗布施工が可能かどうか石材の状態確認をしておいて下さい。

前処理

イシクリーンシリーズ洗剤で石材の汚れを除去します。

乾燥

石材を十分に乾燥させて下さい。
（モルタル目地の場合は、目地の乾きが目安となります）

塗布

原液をきれいな刷毛、ウェス等で均一に塗布して下さい。

標準塗布量を参照にし、2回に分けて塗布しますので、塗布量の半量を目安にして下さい。

御影石/大理石の研磨面仕上げ

拭取り

塗布後20~30分ほど経過したら、乾いたキレイなウェスで拭取りを行ないます。

再塗布

前と同じ方法で均一に塗布して下さい。
最終拭取りは角度を変えて見ながら、油分が残らないように十分に行なって下さい。
拭き取りが不十分ですと、ベタつきや足跡が残りますのでご注意下さい。

御影石バーナー仕上げなど凹凸面

基本的に拭取りは行ないませんが、石材表面にいつまでも液溜りが残るようでしたら拭き取って下さい。
（白御影石以外の場合、色ムラになる石材もあります。この場合は拭取りを行って下さい。）

再塗布

前と同じ方法で均一に塗布して下さい。
※必要に応じて拭取り

クリアコート・BMストーンコートの施工にあたって

1. 下記の場合での施工は、避けて下さい。

① 天候 —特に外部での施工—

a. 雨天時での施工

施工前／施工中／施工後に過剰な湿気や水がかかると、ムラになりますので雨天時には施工しないで下さい。乾燥養生の間にも雨があたらないよう、施工後の天候にも気をつけて下さい。

b. 暑い時期／気温25℃以上での施工

寒い時期／気温5℃以下での施工

石材が熱いと乾燥が早すぎ、冷たいと保護剤の浸透が悪く、いずれも深い浸透層を形成しないため本来の効果が望めなくなります。

※気温が高くても日陰などで石材自体の表面温度が低ければ施工可能ですが十分に注意して下さい。

② 石材の状態

a. 濡れている状態／湿気の多い状態

b. 石材下部から水が染み上がっている状態—斑点状

c. 目地周辺に水やコーキング材の油分シミがある場合

d. ワックスが塗布されている、またはされたことがある石材

特にバーナー等の凹凸仕上げ面では、石材の空隙に浸透したワックスが完全に除去することが難しいため。

⇒いずれの場合も保護剤の均一な浸透が妨げられるため、吸水防止効果にムラが生じます。

2. 裏面／側面処理として使用しないで下さい。

セメントモルタルやコーキング材との接着力を落とします。

裏面、側面処理をしたい場合は当社まで御連絡下さい。

3. 前処理

a. 保護剤を塗布する前に必ず洗浄を行なって下さい。汚れた状態で塗布施工を行なうとそのまゝの状態に残り、後での除去が難しくなります。

b. 洗剤によっては、石材を痛めてしまったり（白くしたり）シミになったり広げたりというケースがありますので、イシクリーンシリーズの洗浄剤を使用して下さい。

4. 凹凸仕上げ面の注意

一部の黒、赤御影石、または中国石は『クリアコート』『BMストーンコート』でも濃色になるものがあり、その場合は拭取りが必要です。

色調に問題が生じないか、必ず事前にテストをおこない、確認をして下さい。

5. 安全な取扱いについての詳細は製品安全データシート（MSDS）を御参照下さい。

有機溶剤を含んでおりますので、使用にあたっては換気とよくし、火気厳禁で作業して下さい。



紺商株式会社

〒940-0061 新潟県長岡市城内町3-7-8
C&Cグループ直通 / Tel. (0258) 32-4453
Tel. (0258) 32-4411(代) Fax. (0258) 32-4669
URL <http://www.konsho.co.jp>